

済生会千里病院 スケジュール

※開催スケジュールは変更になる場合があります。予めご了承ください。



19年度クリスマスコンサート

■セカンドオピニオンについて

他の病院で治療を受けられている方が、当院の医師に意見を聞きたいというご希望に応える為に、セカンドオピニオン外来を行っております。

【お問い合わせ】

1階総合受付カウンター（医事課）

■大阪府AED・BLS講習会【開催場所】済生会千里病院東館3階講堂

平成20年1月16日（水）、2月20日（水）、3月19日（水）開催※予定
注）4月以降も毎月1回開催を予定しております。

■肝臓病消化器病教室

平成20年2月、4月、6月開催※予定

■平成20年度登録医会総会並びに学術講演会

平成20年3月15日（土）開催※予定

■第7回大阪千里メディカルラリー

開催予定※開催日は未定です。

■二次救命処置コース（ICLS）

平成20年1月25日（金）、2月23日（土）、3月23日（日）開催※予定

■糖尿病教室

毎週水曜日開催

■患者さんへのお願い

- 療養環境向上の為、敷地内禁煙となっておりますのでご理解いただきますようお願い致します。
- 携帯電話のご利用は「携帯電話エリア」にてご使用下さい。なお職員が使用しております携帯電話は（赤色ストラップ付）は、一般の携帯電話とは異なるものです。

はなみずき

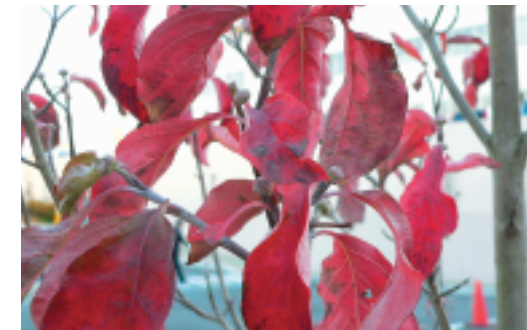
第2号
（平成20年1月号）

【新年のご挨拶】

新年、あけましておめでとうございます。昨年中は、皆様方の温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。

済生会千里病院の理念は「心のこもった医療」であり、医療の透明性とアカウンタビリティ（説明責任）に忠実で、地域の皆様に信頼され安全で良質な医療を、心を込めて提供できる病院を目指しています。

本年もよろしく願いいたします。



当院ご利用案内

医療相談窓口

患者さんやご家族の方々から様々な相談をお受けいたしています。誰に相談していいかわからないことがあれば、まずは医療相談窓口にご相談ください。

- （1）医療に関すること
- （2）当院での受診に関すること
- （3）病院に対するご意見、ご要望、苦情等について
- （4）個人情報保護に関すること

などについてご相談を受けております。

診療受付時間

☆月～金曜日 初診 午前 8:30～11:30 午後 12:30～2:30
再診 午前 8:00～11:00 午後 12:30～2:30

☆土曜日 初診 午前 8:30～11:30
再診 午前 8:00～11:00

☆専門外来 午後 12:30～2:00（診察日は異なります）
（乳腺外来・大腸肛門外来・その他、詳しくは総合受付まで）

☆乳児健診 午後 12:30～1:00（月・火・木 予約制）
予防接種 午後 12:30～1:00（月～木 予約制）

☆禁煙外来 予約制（お問い合わせは内科外来まで）

☆吹田市民健診（基本健康診査）
午前9:00～10:00（水・金）（結果説明 土曜日予約制）

初診の方で紹介状をお持ちでない方には、別途特定療養費として2,100円をいただきます。皮膚科、歯科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科、心療内科、神経内科への受診は、紹介状が必要です。

大阪府AED・BLS講習会

講習会では、AED（Automated External Defibrillator、自動体外式除細動器）の使用方法和、胸骨圧迫（心臓マッサージ）と人工呼吸からなる基本的な心肺蘇生法（BLS）をマネキン人形を用いた実習を通じて学んでいきます。

【開催場所】済生会千里病院 東館3階講堂
【お問い合わせ先】大阪ライフサポート協会事務局
TEL06-6370-5883（10時～17時）

地域支援センター

福祉相談室・在宅支援室

病気に伴う様々な問題について、専門の医療ソーシャルワーカーが患者さんやご家族からの相談をお受けしています。

地域医療連絡室

地域の医療機関との連絡を密に、患者さんの紹介や逆紹介について連絡調整を行います。かかりつけ医についてのご相談もお伺いします。

入退院管理室

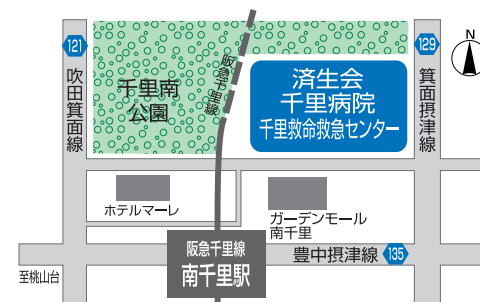
安心して入院生活をおくっていただけるよう、入院についてあらゆるご質問にお答えして、患者さんとのコミュニケーションを大切にしております。



社会福祉法人
恩賜財団 大阪府済生会吹田医療福祉センター
大阪府済生会千里病院

広報誌ホームページ委員会（経営企画室） 発行（年2回／1月1日・7月1日発行）

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台1丁目1番6号 TEL.06-6871-0121（代）
ホームページ <http://www.senri.saiseikai.or.jp/>



乳がんについて 内分泌外科(乳腺、甲状腺)

乳がんは、乳房の中の乳腺(母乳を作るところ)に発生します。がん細胞が増えるとしこりになります。まずは、しこりがないか?乳頭からの分泌物がないか?チェックをしてみてください。月に一度、生理が始まって一週間後くらいにチェックをしてみてください。閉経後の方は毎月一度、日を決めてチェックをしてみてください。まんべんなく触ってしこりや乳頭からの分泌物がありましたら、まずは病院で検査を受けてみましょう。乳がんは婦人科で診てもらおうと思っている方がおられますが、外科・乳腺外来(専門外来)で診断・治療を行います。

前浦副院長より ワンポイント アドバイス

乳がんの発見には、まず自分で自分の乳房を見る、触るが欠かせません。いつもと違うと感じれば専門外来にすぐに行ってみる。乳房をはさんで撮影するマンモグラフィーが診断に役立ちますが、若い方であれば超音波検査もいいでしょう。予防は難しいですが、検診などで早く見つけることはこの病気のそれからをきっとよくしてくれます。

■医師の紹介

前浦副院長

【プロフィール】

- 専門分野:乳腺外科、消化器外科
- 主な経歴:大阪大学医学部卒業(昭和47年)、大阪大学第2外科助手、米国ネーランダ研究所研究員、(財)大阪府保険医療財団新千里病院外科部長・副院長、済生会病院・副院長、日本臨床外科学会評議員、近畿外科学会評議員
- 専門医資格:日本乳癌学会専門医、マンモグラフィー読影医、日本がん治療機構暫定教育医、日本外科学会専門医、指導医、日本消化器外科学会認定医、指導医



つう やく どう こう 通訳同行システム

がいこくせき し じん 外国籍市民の みなさんへ

(財)吹田市国際交流協会の「通訳同行システム」が当院で利用

できるようになりました。病院での通訳(中国語・韓国朝鮮語・英語・スペイン語)が無料で受けられる制度です。

通訳が必要な人は**医療相談窓口**または**総合受付1番初診カウンター**で事前に申し込んでください。

(通訳の派遣には事前の予約が必要です。)

む りょう
無料

■医療の提供の結果に関する事項(厚生労働省「医療広告ガイドライン」第3.5.(12))

項 目	単 位	18年 12月	19年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
新 入 院 患 者 数	人	645	609	572	662	642	661	628	678	693	596	711	653
退 院 患 者 数	人	689	560	563	697	650	627	648	664	701	605	684	674
在院患者数(24時現在)	人	9,317	9,397	8,850	9,608	8,843	9,360	9,152	9,073	9,477	9,027	9,385	9,126
1日平均在院患者数(※1)	人	322.8	321.2	336.2	332.4	316.4	322.2	326.7	314.1	328.3	321.1	324.8	326.7
平 均 在 院 数 (※2)	日	14.0	16.1	15.6	14.1	13.7	14.5	14.3	13.5	13.6	15.0	13.5	13.8

※1退院患者数+在院患者数(24時現在)を暦日数で割ったもの ※2在院患者数(24時現在)を(新入院患者数+退院患者数)÷2で割ったもの

当院の活動紹介

■健康講座

- 第30回:平成19年9月28日「乳がんについて」
- 第31回:平成19年12月18日「2007年さようなら。ついでにタバコもさようなら〜」

院内で年間4回「健康講座」を、又、年間2回「出張健康講座」を実施しております。健康についてのさまざまなテーマを解りやすく説明しております。



■母親教室



3階デイルームで月2回(第1木・第3土)ペースにて開催しています。助産師が妊娠後半期のマイナートラブルや分娩経過・入院方法について解りやすくお話をしています。お問い合わせは産婦人科外来まで。

■メディカルラリー



平成19年9月29日(土)梅田駅周辺にて20チームが参加し、メディカルラリーを行いました。総合評価として1位堺チーム2位長崎医療センターチーム3位DMAT(北海道)チームとなりました。

■メディカルラリーとは■

シナリオを設定し、医師、看護師、救急救命士が3名1チームとなり、ドクターカーで現場に出動したという設定で、模擬患者に対して制限時間内に観察、処置を実施させ、その行為をジャッジが評価するという、競技会方式による多数傷病者発生時対応訓練です。

■災害派遣医療チーム(DMAT)

平成19年 DMAT活動報告

日本DMAT●3月25日能登半島地震出動待機のち解除

●7月10日新潟県中越沖地震出動待機 のち 解除

●毎月 日本DMAT研修会 講師派遣

大阪DMAT●11月1日大規模地震対策総合訓練 参加 豊中市

●11月8日大阪国際空港 航空機事故対策総合訓練 参加 大阪国際空港内



■DMATとは■

災害急性期に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医師、看護師、調整員により構成される災害派遣医療チームです。日本DMATおよび大阪DMATの登録チームを擁しています。

■肝臓病消化器病教室

- 第32回平成19年8月27日「ピロリ菌について」
 - 第33回平成19年10月22日「C型慢性肝炎の治療と日常生活について」
 - 第34回平成19年12月17日「肝硬変の治療と日常生活」
- 2ヶ月に1回のペースで開催し、毎回当院の医師・看護師・薬剤師・管理栄養士など専門スタッフがサポートし、肝臓病や消化器病の説明や療養指導などを行っています。

■糖尿病教室

毎週水曜日午後1時より病院5階カンファレンス室にて開催しています。

- 平成19年8月1日・「糖尿病のはなし」
「肥満と糖尿病『太っていると糖尿病になりますか?』」
- 平成19年9月5日・「糖尿病とメタボリックシンドローム」
「あなたの足は大丈夫?足の手入れと靴の選び方」
- 平成19年10月17日・「糖尿病の薬物療法」
「体の調子が悪いとき、食事や薬はどうすればいいの?」
- 平成19年11月21日・「糖尿病の薬物療法」
「低血糖になったら、どうすればいいの?低血糖の原因・症状・対処法」
- 平成19年12月19日・「糖尿病の薬物療法」
「外来通院での自己管理」

■二次救命処置コース(ICLS)



医療従事者に二次救命処置を学んでいただく教育コースで、毎月1回開催しています。



■登録医総会・研修会

○開催日:平成19年9月15日(土)

○会 場:千里ライフサイエンスセンター

○演 題:「慢性心不全の治療戦略」

大阪大学大学院医学系研究科 准教授 大津 欣也先生

「日本版救急蘇生ガイドライン(新ガイドライン)改訂のポイント」

千里救命救急センター 副センター長 林 靖之



■日本救急看護学会学術集会

11月9日と10日にわたって、第9回日本救急看護学会学術集会をホテル阪急エキスポパークで開催いたしました。日本救急看護学会は日本救急医学学会に設立された看護部会を前身として、1998年(平成10年)に独立してまだ、歴史は浅い学会ですが、会員も年々増加し、2,200人を超える学会となりました。今回は、当院の副看護部長寺師榮が会長を務めさせていただき、過去最高の1,276人の参加者となりました。済生会千里病院のスタッフ、近畿圏の救急病院の看護師がそれぞれ70人近く参加しました。二日間に亘り、活発な討議・発表があり盛会のうちに終了しました。

